

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/02/22

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.28	0.15
JPY/THB	0.2813	0.0017
USD/JPY	114.74	-0.27
EUR/THB	36.51	0.10
EUR/USD	1.1311	-0.0011
USD/CNH	6.326	0.002
SGD/THB	23.97	0.07
AUD/THB	23.21	0.12
USD/INR	74.52	-0.15
USD Index	96.08	0.03

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.400	-0.012
10Y (THB)	2.185	-0.001
5Y (USD)	1.821	0.000
10Y (USD)	1.929	0.000

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,898.6	0
WTI (Oil)	91.07	0
Copper	9,898.0	-58.0

Stock

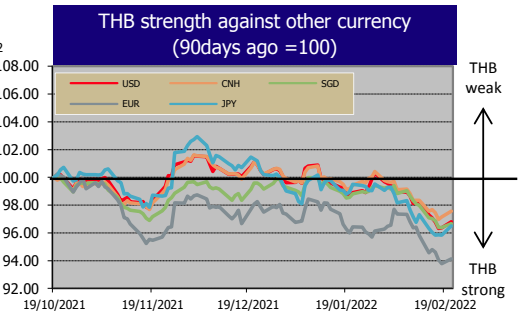
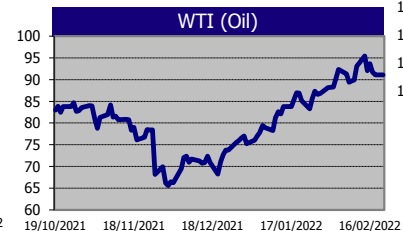
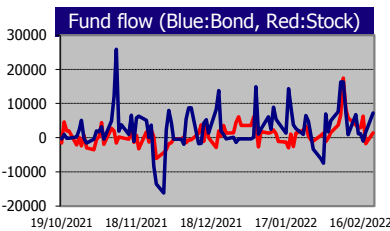
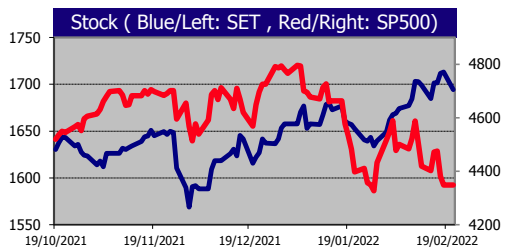
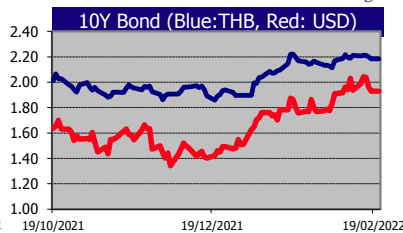
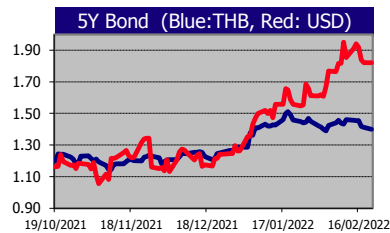
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,694.32	-18.88
NIKKEI (JP)	26,910.87	-211.20
DOW (US)	34,079.18	0.00
S&P500 (US)	4,348.87	0.00
SHCOMP (CN)	3,490.61	-0.14
DAX(GER)	14,731.12	-311.39

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,466	3243.7
Bond net flow	7,226	5573.4

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇。バンコク時間は32.15近辺でオープン。米国が3連休ということもあり、アジア時間は実需取引も限定的で横ばい推移が継続。ロンドン時間に入ると、ロシアが新ロシア派武力勢力が独立を宣言していた東部2州を共和国として承認することに署名したことで、和平協議の難航が意識され、地政学リスクが再び強まる展開。原油やコモディティ価格が上昇を示す中で、ドルパーツはショートカバーが入り、32.30近辺まで上昇してクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は引き続き安で推移。東京時間は114.95円近辺でオープン。週明けのアジア市場はウクライナ情勢への警戒感が強まる中で、リスクオフ地合いが継続。米国が3連休を迎える中でドル円は上値重い推移が続き、じりじりと値を下げる展開。ロンドン時間後は一段とリスクオフムードが強まる中、ドル円は下落基調を継続し、結局114.70円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

昨日、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDC) タイの2021年のGDPを発表し、前年比+1.6%の結果を示しました。コロナ感染が世界的に広まった2020年はタイのGDP成長率は▲6.2%まで転落し、2021年は前年の反動でプラス成長となりましたが、1年を通じて外国人観光客の受入れが進まなかったことやデルタ株の感染蔓延を受けて日常の行動制限期間が長かったことから、サービス産業の戻りは鈍く、サービス業の成長率は+0.7%に留まり、工業の+3.4%と比べて戻りの鈍さが確認される結果となりました。NESDCは2022年のGDP成長率予想を3.5-4.5%になると予想し、外国人観光客は500万人増を見込んでおりますが、冬季オリンピックを終えて中国人観光客がどこまで戻るかによって、シナリオが大きく変わりそうな印象です。

ウクライナ情勢は引き続き緊迫ムードが続いており、米国においても金融引き締め観測が強まる中、米国株式市場をはじめとして、リスク資産の下落基調が継続しています。富裕層の金融資産価値が低下した場合には、タイへのリアルマネーのインフローが縮小することで、アセット価値が低下し、バンコクの富裕層を中心に購買力の低下も懸念されるため、グローバルなリスクセンチメント悪化には注意が必要といえそうです。

本日のドルパーツについては、ウクライナ情勢の悪化から、ショートカバーが優勢の展開となっており、典型的なリスクオフ局面の様相。これまで下値トライを進めていたドルパーツについては、反発に注意が必要といえそうです。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.